

第二十二回

舞踊・邦楽の調べ

出演社中(出演順)

杵家会足利支所長唄登会・登喜和会

箏曲千鳥会

尺八等風会

箏曲美登利会

足利邦楽教室

箏・恵夢の会

寛永昇会

宮城社箏映会

司会 隅田恵里子

※出演順は変更になる場合があります。

【とき】

平成29年 4月30日(日)

13:00開演 (12:30開場)

【ところ】

足利市民プラザ・文化ホール

〈全席自由〉600円(税込) ※高校生以下無料

■主催：公益財団法人足利市みどりと文化・スポーツ財団／足利市教育委員会

■お問い合わせ：足利市民プラザ 〒326-0823 栃木県足利市朝倉町 264 番地 TEL.0284-72-8511
〈E-mail〉s-plaza@watv.ne.jp

■プレイガイド：足利市民プラザ TEL.0284-72-8511 / 足利市民会館 TEL.0284-41-2121

市民大学あしかが学校認定講座

〈特別協賛企業〉

浅岡産婦人科／足利ガス株式会社／あしかがフラワーパーク／株式会社板通
居酒屋レストランいらっしやれ／株式会社開倫塾／株式会社カザミ／株式会社深井製作所

〈協賛企業〉

足利中央観光バス株式会社／岩崎税務会計事務所／菊地歯車株式会社／株式会社キリウ／株式会社サイテックス
株式会社トーコー技研／学校法人白鷗大学足利高等学校／両毛ヤクルト販売株式会社

出演社中(出演順)

杵家会足利支所長唄登会・登喜和会

曲目 五郎時致・作曲者 十世杵屋六左衛門

この曲は、天保十二年、江戸中村座で尾上多見蔵が演じた九変化の所作事「八重九重花姿絵」のうちの一曲です。鎌倉時代に父の仇討ちを果たした曾我の兄弟を題材にした歌舞伎は、江戸時代大変人気が高く、特に弟の時致は豪放でケンカが強く人気がありました。また、恋仲の女性であった高級遊女、化粧坂の少将との悲恋のエピソードも人気が高く、この曲では、彼女の元に通いつつも仇討ちにいられている時致を描いています。華やかで勇ましくまたうるわしい曲想やその変化をお楽しみ下さい。

箏曲 千鳥会

曲目 光輝・作曲者 久本玄智

輝きに満ちた若人のうたを軽快なテンポであらわした曲ですが中間部に日本的な旋律も入り、昭和八年当時の箏曲という印象からは考えられないような新しい感覚に満ちあふれた久本作品です。

尺八 等風会

曲目 虚鈴・作曲者 普大寺所伝古典本曲

虚無僧が吹いた普化尺八古典本曲中、最も古い時期のものは、「虚空」、「霧海鏡」、「虚鈴」の古伝三曲で傳承上、大切にされており、この「虚鈴」はその一つです。曲の構成は、分かりやすい旋律の繰り返しを多用していますが、聞く人の感情を高ぶらせることはなく、沈静化させ、心を澄ませるものです。全曲を通して、おごそかな「虚吹」という吹き方で演奏します。普大寺は浜松にあった虚無僧寺です。

箏曲 美登利会

曲目 新潮・作曲者 中能島欣一・作詩 島崎藤村

静かな歌と激しい間奏の絶え間ない交替によって曲想の変化をみせながら、夜の渦潮、星の輝き、潮を照らすかがり火、速い夜の波などの情景をあざやかに表現しています。昭和二十四年五月の作品です。

休 憩

足利邦楽教室

曲目 菊寿の草摺・作曲者 初代 杵屋正治郎

天明七年一月 江戸桐座 初演。

吉例『曾我狂言』の中に付けられた歌舞伎舞踊の一曲。

曾我五郎時致が、仇敵工藤祐経の消息を聞き、勇んで鎧を引っ提げ館へ駆け出そうとするを、化粧坂の少将が草摺を掴み引き五郎の短気を押しめると云う筋立て。春狂言らしい華やかで、古風なおおらかな曲。

箏・恵夢の会

曲目 黒田節による幻想曲・作曲者 沢井忠夫

黒田節は元来九州福岡の旧黒田藩士によって歌われていたものだが、昭和三年NHK福岡放送により「筑前今様」という題で紹介され、翌年「黒田節」と改題したところ、俄然全国に広まった。ここでは室内協奏的な変奏曲形式をとり、新日本音楽時代の華やいだ雰囲気や頭を描きつつ、合奏曲にまとめたものである。最初この曲には尺八のパートはなく、のちに尺八を加えるという経過で現在の形となった。

寛永昇会

曲目 武田節 松の緑

武田節

風林火山の旗の元、京をめざして進む武田武士詩吟入りで古典曲とし踊ります。

松の緑

華やかな遊郭の情景の中「みどり」という禿が成長し、松の位の太夫に出世する物語。幼い子ども達が、やがて夫婦となり共白髪まで添いとげる物語と諸説ありますが、長唄は、松の緑に始まり、松の緑に終わるといわれて試験曲にも使われています。

宮城社箏囃会

曲目 生田流箏曲 千鳥の曲・作曲者 吉沢検校

古今組の一つとして有名な曲です。

淡路島かよう千鳥のなく声に 幾夜寝ざめね須磨の関守